

事務事業名	基幹水利施設管理事業				担当	産業部 農政課 農村整備係		
政策名	E	地域と産業が調和する活力あるまちづくり			増補版施策名			
施策名	1	農業の振興			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成13年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
法令根拠	基幹水利施設管理事業実施要綱							
予算科目	1. 一般会計	6. 農林水産業費	1. 農業費	6. 農地費				
事業概要	大規模で公共性の高い基幹水利施設（ダム、頭首工、用水機場、排水機場、排水樋門）を県、関係市町及び関係土地改良区が連携を図りつつ、計画的に管理を行う。 実施地区 鬼怒川南部土地改良区連合（勝瓜口、大井口、伊謀美原記念揚水、江連八間、編、結城用水、吉田用水）【対象施設】勝瓜頭首工、船玉第1、第2用水機場、川岸用水機場 【受益面積】9,070.6ha（真岡市 1,213.7ha）【負担割合】国30% 県30% 市町村 20% 土地改良区連合20%（真岡市負担率 13.381%） 【関係市町】真岡市、小山市、結城市、筑西市、下妻市、八千代町、板東市、古河市、常総市 鬼怒中央土地改良区連合（鬼怒川右岸、五斗内、鬼怒川左岸、上三川町、真岡市、芳賀町、水沼台、清原南部、宇芳真）【対象施設】岡本頭首工 【受益面積】3,008ha（真岡市 300ha）【負担割合】国30% 県30% 市町村 20% 土地改良区連合20%（真岡市負担率 9.19%） 【関係市町】真岡市、宇都宮市、上三川町、芳賀町							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 30年度実績 ・負担金支出事務 ・頭首工管理会議への出席 31年度計画 ・30年度同様	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移								
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)		
ア	鬼怒川南部負担金額	千円	994	994	994	994	994		
イ	鬼怒中央負担金額	千円	810	213	373	567	575		
ウ									
エ									
オ									
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 ・鬼怒川南部土地改良区連合が管理する施設：勝瓜頭首工、船玉・川岸揚水機場 ・鬼怒中央土地改良区連合が管理する施設：岡本頭首工（機械設備の保守、点検業務費用及び、施設の整備、改修費）	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移								
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)		
ア	施設の維持管理費（鬼怒川南部）	千円	24,970	24,970	24,970	24,970	24,970		
イ	基幹水利施設数（鬼怒川南部）	箇所	4	4	4	4	4		
ウ	施設の維持管理費（鬼怒中央）	千円	44,094	11,541	20,304	36,500	37,000		
エ	基幹水利施設数（鬼怒中央）	箇所	1	1	1	1	1		
オ									
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） ・頭首工から取入れる水量を遠隔操作により、迅速かつ適格に管理する。 ・適正な維持管理のため、対象施設を修繕する。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移								
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)		
ア	安定供給されている改良区数（鬼怒川南部）	改良区	7	7	7	7	7		
イ	安定供給されている改良区数（鬼怒中央）	改良区	9	9	8	8	8		
ウ									
エ									
オ									
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） ・農業用水の安定供給 ・農業生産の基礎づくり ・大雨時の洪水を防止	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移								
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)		
ア	安定供給されている受益面積（鬼怒川南部）	ha	9,071	9,071	9,071	9,071	9,071		
イ	安定供給されている受益面積（鬼怒中央）	ha	3,008	3,008	3,008	3,008	3,008		
ウ									
エ									
オ									
(2) 総事業費の推移		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	1,208	1,208	1,367	1,561	1,575
	事業費計(A)		千円	1,208	1,208	1,367	1,561	1,575	
	人件費	人員	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2
			延べ業務時間	時間	30	30	30	30	30
			人件費計(B)	千円	126	125	125	125	125
			トータルコスト(A)+(B)		千円	1,334	1,333	1,492	1,686

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	平成13年度から、国営造成施設の維持管理費に対し、国・県の補助制度が創設され、受益市町村の負担が決められた。鬼怒中央土地改良区が管理する施設については、平成20年3月26日に作成した「覚書」により平成25年度の経費から負担することになった。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	平成29年度より、鬼怒中央地区において、岡本頭首工の老朽化対策促進のため、ストックマネジメント事業を導入。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 農業水利施設を適正に維持管理することは、農業生産の基礎づくりに結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公共性の高い基幹水利施設であり妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 対象施設は実施要綱で決まっているため、適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 施設が適正に管理され、農業用水の安定供給が確保されている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 農業用水の安定供給が確保できない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？ ・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 負担割合が決まっているため、必要最小限の事業費である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 負担金の支出事務であり、必要最小限の人件費である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 受益面積に応じた負担があり公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							